

2023 度（第 13 事業年度）

「事業報告書」

一般財団法人 Ruby アソシエーション

1 事業の概要

2023 年度の当財団の活動は、利用者が Ruby を安定して利用できるよう、また便利に使えるように、Ruby 安定版の保守事業、公募型開発プロジェクトの開発支援、Ruby の開発コミュニティに対して開発サーバー費支援を昨年度に引き続き継続しました。これらの開発による成果は、多くの Ruby ユーザーに恩恵をもたらすことが期待されます。

2019 年以来となる集客型のセミナーを東京と大阪で開催しました。また、開発助成の成果報告会や技術者向けのセミナーはオンライン開催し、当日の動画を公開することにより情報発信を行いました。

当財団は、その目的である Ruby 関連のプロジェクトやコミュニティ、ビジネスの関係をより良好なものとし（「Ruby Eco System」の構築）、ビジネス分野における Ruby の利用に関する諸課題の解決に取り組みました。

本書では当財団の 2023 年度の実施状況について報告します。

2 体制及びその変更

1) 評議員

2023 年度評議員

- ・ 出田 健二 (株)まちづくり三鷹
- ・ 大場 寧子 (株)万葉
- ・ 小崎 資広 富士通(株)
- ・ 後藤 裕蔵 (株)ネットワーク応用通信研究所
- ・ 細美 彰宏 (株)日立ソリューションズ
- ・ 立久井 正和 (株)インターネットイニシアティブ
- ・ 中島 宏 (株)DTS
- ・ 羽田 昭裕 BIPROGY 株式会社
- ・ 森 正弥 デロイト トーマツ(同)

2) 理事

- ・ 代表理事 理事長 松本 行弘
- ・ 副理事長 井上 浩
- ・ 理 事 橋本 明彦
田中 和明
笹田 耕一

3) 監事、顧問及び事務局

- ・ 監 事 今岡 正一（公認会計士）
- ・ 顧 問 上定 昭仁 松江市長、丸山 達也 島根県知事
- ・ 事務局 前田修吾（事務局長）が事務局業務全般を統括し、常勤スタッフ 1 名と外部委託 1 名の体制です。その他、松江市、島根県による人的支援によって運営しました。また、事例収集のため外部のライターと契約を行っています。

4) 評議員選定委員会

- ・委員長 立久井 正和（評議員）
- ・委員 今岡 正一（監事）、横田 早百合（事務局員）、
高橋 征義（外部委員）、田中 哲（外部委員）

3 実施事業

1) Ruby 開発及びその他支援事業

(1) 公募型開発支援プロジェクト

Ruby 及び周辺環境の改善を目的に Ruby 処理系、ライブラリ及びフレームワークに関連する開発プロジェクト（既存のソフトウェアを改良するプロジェクトを含む）を公募し、開発助成委員会で選考の結果、以下5件のプロジェクトを採択しました。

いずれも 2024 年 3 月 31 日までに開発を終え、その成果を公開します。

- ・応募件数：6 件
- ・採択件数：5 件

① 採択者：田籠 聡	プロジェクト：Namespace on read
Ruby に、通常のグローバルな階層化名前空間をもつモジュール等のライブラリを、読み込み時に規定した仮想的なトップレベル名前空間に読み込む機能を追加することを目的としてパッチ開発を行う。 この名前空間に読み込まれたライブラリはグローバルな名前空間とは独立した存在となるため、名前衝突の回避、共有されたモジュール・クラスの操作・変更に関する競合の回避、ならびに将来的にはアプリケーションが依存するライブラリ間でのバージョン競合の回避の実現を可能にすると期待している。	
② 採択者：塩井 美咲	プロジェクト：socketライブラリへのHappy Eyeballs Version 2 (RFC8305) の導入
Rubyのsocketライブラリにおいて、リモートサーバと接続したクライアントソケットを返すメソッドが用意されている。これらには、以下の二つの課題がある。 (1) アドレス解決の段階において：DNSサーバに対してアドレスファミリーごとに同期的に問い合わせを行い、すべてのアドレスが解決できるまで動作を停止する (2) 接続試行の段階において：IPアドレスが宛先ホストに接続しようとして時間がかかっている間、プログラムが停止し、他の解決済みIPアドレスで接続試行できない RFC8305 ではこうした課題について、(1)に対してはアドレスファミリーごとのDNSクエリ送信を非同期的に行うこと、(2)に対しては解決済みのIPアドレスを利用して順次接続試行を行うことによって解消し、より良い接続性を担保するHappy Eyeballs Version2 アルゴリズムを規定している。 このプロジェクトでは、RubyのsocketライブラリにHappy Eyeballs Version 2 を導入することにより、上記の課題の解決を目指す。	

③ 採択者：有友 大輔	プロジェクト：Ruby のパフォーマンスプロファイリングの改善
このプロジェクトでは、Rubyプログラムのプロファイラを新たに開発する。パフォーマンスの高いプログラムを記述するにあたって計測は非常に重要であり、ここでプロファイラは大きな役割を果たす。 より実用的な分析の一助となるよう、すぐれたビジュアライズ機能をもち、プロファイル対象となるプログラムや Rubyインタプリタとの統合を通して、より詳細な情報を出力できるプロファイラを実装することを目指す。 あわせて、実装に関する知見の構築・公開や、既存のプロファイラの改善活動にも取り組む。	
④ 採択者：齋藤 優太	プロジェクト：Ruby Playground for CRuby Developer
プログラミング言語開発におけるディスカッションでは、実際に処理系を動かして実験する場面が多い。特に新しい構文やメソッドの提案などでは、実装を動かすことでエッジケースや新たな視点が得られることがある。一方で提案段階の実装を動かすためには、手元で変更を適用したビルドを作るといった一手間が発生する。 本プロジェクトはRuby開発者向けの手軽なプレイグラウンドを用意することで、Ruby開発における議論を活性化させることを目的とする。	
⑤ 採択者：tokujiros	プロジェクト：CRuby 用 Processing Gem の、本家 Processing との互換性向上に向けた取り組み
クリエイティブコーディングの世界では Processing や p5.js のようなフレームワークが広く利用されています。 これらを利用することで、グラフィックスと視覚的な表現を駆使したアートやインタラクティブなアプリケーションを簡単に作成することができます。 このプロジェクトではその Processing/p5.js の API と互換性のある CRuby 向けの Processing Gem をゼロから開発しており、現在 Processing の主要な機能の約 7 割から 8 割を実装済みとしています。 本取り組みは、その残りの未実装となっている機能を開発し、Ruby プログラマーが広く知られた Processing API を使用してグラフィックスプログラミングを行えるよう支援するものです。	

（２）その他の助成

用途を限定しない助成金の申請窓口を設置し、公募型開発以外の分野でも助成を受け付けましたが、2023 年度は申請がありませんでした。

（３）Ruby 安定版保守事業

ユーザーが安心して Ruby を利用できる環境を構築するため、Ruby 安定版の保守事業を実施しています。事業仕様策定後に業務を外部機関に委託することとし、委託先の選定に際し公募を行った結果、昨年度に引き続き中村宇作様を委託先に決定しました。委託期間は 2024 年 3 月 31 日までです。

(4) サーバー運営費支援

Ruby の開発コミュニティに対して開発サーバー費を支援しました。

(5) Ruby 開発合宿

2023 年度は実施できませんでした。

2) 情報発信事業

(1) 事例紹介

協賛会員をはじめ、Ruby をビジネス利用する企業の企業担当者にオンラインで取材し、概要情報と詳細情報を作成しました。これらの情報は、利用時の背景事情、適用されたビジネス・システム分野やその特性など、利用企業のみならずエンドユーザ(企業や個人の場合あり)の損益にも深く関わる場合があることから、公開前に利用企業等による内容確認を実施し(その際にエンドユーザに了解を得ることもあった)、関係者合意の上で財団ホームページに掲載しました。2023 年度は新たに 6 件の利用事例を紹介しました。

2023 年度掲載企業	テーマ
株式会社ウェブチップス	SHIRASAGI で全国の企業さんと一緒に地域ビジネスを広げていきたい
株式会社マネーフォワード	人が成長できる環境でサービスも成長させていきたい
リンカーズ株式会社	エンジニアとビジネス側の密なコミュニケーションで「三方よし」のサービスを提供
ウィルポート株式会社	地域物流マネジメントシステムを開発「物流 2024 年問題」に立ち向かう
株式会社ウーオ	水産業の新しいインフラをつくりたい
ピクシブ株式会社	創作活動を、もっと楽しくする

(2) RubyWorld Conference 2023 の開催

2023 年 11 月 9 日(木)、10 日(金)に島根県松江市で開催された RubyWorld Conference 2023 において開催実行委員会の構成団体として参加しました。

(3) Ruby ビジネスセミナー開催

①Ruby ビジネスセミナー

2023 年度は東京と大阪で集客型のイベント及びオンラインでのイベントも開催いたしました。これらのセミナーでは、Ruby の利用状況と今後のビジネストrendをはじめ、開発現場で必要とされる技術情報など、状況に応じた話題提供をすることで参加者のニーズに合わせたセミナー機会を提供しました。

開催時期	イベント名	参加人数／登録者数
2023 年 6 月	Ruby ビジネスセミナー東京	48 名／51 名
2023 年 8 月	Ruby 技術者認定試験合格者ミーティング with まつもとゆきひろ	11 名／16 名
2023 年 8 月	Ruby Association Activity Report	30 名／35 名
2024 年 1 月	Ruby ビジネスセミナー大阪	32 名／40 名
2024 年 3 月	オンラインセミナー	116 名／137 名

(4) ジョブボード

昨年度から引き続き Ruby の求人情報を掲載できるジョブボードを提供しています。Ruby アソシエーションの協賛会員を中心とした Ruby の求人情報を掲載しております。(非会員企業も求人掲載可能)

(5) ウェブサイト

イベント情報や助成金に関するお知らせを掲載しました。

4) Ruby 技術者認定試験事業

学割に関しては認知度向上に伴い、昨年度と同等の受験者が学割を利用して受験をしています。

認定者は、Ruby技術者としての技術力を公正に評価され、高い水準のRubyによるシステム開発能力を持つことを認定されます。認定によりRubyベースでシステム開発を行ううえで必要な基礎的な知識と応用力をもつことをアピールすることができます。

試験の合格者は、当財団が「Ruby Association Certified Ruby Programmer」として認定します。現在は、国内(試験区分：Silver、Gold)、海外(試験区分：Silver)で実施しており、2012 年 10 月より当財団が直営実施(CBT受験環境、オペレーションはプロメトリック社に委託)しており、安心して受験いただける環境を提供しています。

5) 事業者認定事業

従来から実施している認定システムインテグレータプログラム(Ruby の高い技術力を持った企業を認定)に加えて、2012 年 10 月から認定教育機関プログラム(Ruby の教育をおこなう高い技術を持った企業を認定)、認定サポート事業者プログラム(Ruby のサポートサービスを提供する高い技術を持った企業を認定)、及び認定クラウドサービス事業者プログラム(Ruby アプリケーションの運用に適したクラウドサービス(IaaS、PaaS)をおこなう高い技術を持った企業を認定)の各プログラムを実施しています。

2024 年 3 月 31 日時点での認定企業数は以下のとおりです。

認 定 種 別	Gold	Silver
認定システムインテグレータプログラム	34(35)	38(41)
認定教育機関プログラム	6(6)	3(2)
認定サポート事業者プログラム	2(2)	—
認定クラウドサービス事業者プログラム	1(2)	—

※()内は前年度数

6) 協賛会員事業

- ・会員資格

法人、任意団体及び個人

- ・会員種別、会費

年会費 1口 10万円 (4月を開始月とします)

①Platinum Sponsor 5口以上 (50万円以上)

②Gold Sponsor 2口～4口 (20万円～40万円)

③Silver Sponsor 1口 (10万円)

2024年3月31日時点での協賛会員数は、以下のとおりです。

Platinum : 年間 5 口以上	Gold : 年間 2 口～4 口	Silver : 年間 1 口
14(14)	15(16)	44(45)

※()内は前年度数